

おばあちゃんの巣箱



ニーちゃん（10才）とヒーちゃん（7才）には、お花や鳥が大好きなおばあちゃんがいます、おばあちゃんは、車で2時間ほどのところに住んでいます。家の近くの公園には、学校の3階くらいの高さの大きい木がたくさんあります。そこには、ヒヨドリ・ムクドリ・ハト・緑色のインコ・シジュウカラなどが住んでいるそうです。



それは今年の2月の半ばの暖かい日のことでした。おばあちゃんの庭の「かいどうの木」に、二羽のシジュウカラが止まっているのに気がつきました。シジュウカラは、頭は黒と白、体は薄い黄色や青の美しい鳥です。



物を作るのが得意なおばあちゃんは、さっそく巣箱を作ってあげようと思いました。どれくらい大きさが良いのか。入り口の穴はどれくらいが良いのか。大きな鳥が入れないように。えさも食べやすいように、いろいろ考えました。2時間ほどしてやっと巣箱が完成し、さっそく、「かいどうの木」に取り付けました。



えさはたべやすいように小さく割ったピーナッツです。するとどうでしょう、10分もしないうちに2羽がやってきてえさを食べていたのです。おばあちゃんはうれしくなって、じっとみていました。そしてその様子を写真にとってニーちゃんとヒーちゃんに送りました。



おばあちゃんから写真がとどきました。二人の家は、町の中にあつて木が少なく、野鳥を見ることは少ないのです。二人は、さっそく図書館で「鳥のずかん」を借りてきて、シジュウカラのことをしらべました。「シジュウカラはすずめくらいの大きさで、木の実や昆虫や果物の実を食べること、4〜7月に卵を産むこと、12〜14日で卵がかえり、それから16〜19日で巣立つ」ということを知り、ました。二人はどうしてもシジュウカラを見たくなくて、日曜日パパの運転でおばあちゃんの家に行きました。

家に着くと二人は、

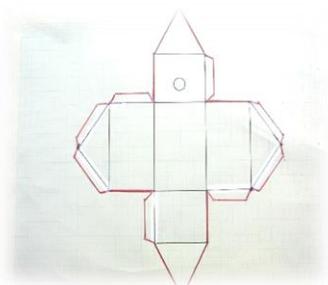
リビングのガラス越しに巣箱を見ましたが、シジュウカラはいませんでした。5分ほど待っていると、「あつ、来た！」野鳥をこんなに近くで見ることができて、二人は喜んで大声をあげました。

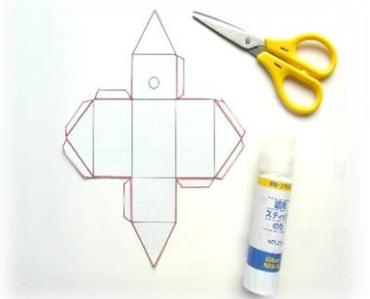
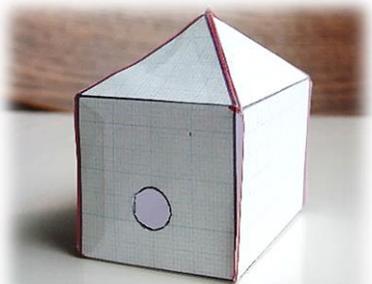
鳥には聞こえなかったようです。えさを足でおさえて、いそがしくつつきながら食べていました。えさを食

べたあと、植木ばちの下においてあるお皿にたまっている水をのみました。

突然、スズメが5羽飛んで来ました。シジュウカラはどこかへ逃げていきました。スズメはシジュウカラより大きいので巣箱へ入ることができません。土の上にこぼれているえさを食べて飛んで行ってしまいました。すると、シジュウカラが戻ってきて、少しの間、また、えさを食べていなくなりました。

おやつを食べた後、ニーちゃんが「私も巣箱を作りたい」と言い出しました。ヒーちゃんも「作りたい作りたい」と言いました。巣箱はそんなにかんたんに作れるものではありません。作り方の練習ということで、おばあちゃんが紙に巣箱の分解図を書いてくれました。





赤い線のところを切るのですが、複雑な形をしています。ニーちゃんは、ハサミをもってしんちょうに線を切っていました。

切り終わると今度は折り曲げです。折り曲げるところは全部で20もあります。上手に折り曲げないと巣箱がうまくできません。ヒーちゃんは、かんたんな三角のところの4つだけ折りました。折り曲げたところをはり合わせて、完成です。二人は「やった!」と言ってハイタッチしました。

しばらくの間、みんなでお話をしながら、インコが来るのをまっていますでしたが、来ませんでした。家に帰る時間が来ました。ニーちゃんは、「お家でも巣箱を作る練習したい」といって、おばあちゃんから分解図のコピーをもらって帰りました。

おばあちゃんは、孫娘たちが鳥や物を作ることに興味をもった様子を見て、その成長を喜んでいました。なんと、二人が帰ったすぐ後にインコがやってきました。おばあちゃんは、残念そうに

「もうちょっと早くきてよ!」とつぶやきました。

おしまい